

## (5) 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

### 1) 動物

#### ア. 動物相の状況

対象事業実施区域を含む周辺市町村における動物相の状況は、表 4-2-1-61 に示すとおりである。

表 4-2-1-61 動物相の状況

(単位：種)

項目	確認種数
哺乳類	46
鳥類	182
爬虫類	13
両生類	19
昆虫類	1,950
魚類	33
底生動物	350

資料：大鹿村誌（1984、大鹿村誌編纂委員会）

松川町史第二巻 松川町の自然（2010、松川町史第二巻編纂専門委員会・松川町資料館町史編纂事務局）

豊丘村誌 上巻（1975、豊丘村誌編纂委員会）

高森町史（1972、高森町史編纂委員会）

喬木村誌 上巻（1979、喬木村誌編纂委員会）

喬木村の生きもの（2008、喬木村役場）

ふるさと飯田の自然（1977、飯田市教育委員会）

阿智村誌（1984、阿智村誌編集委員会）

清内路村誌（1982、清内路村誌編纂委員会）

下伊那誌 生物編（2001、下伊那教育会生物委員会）

南木曾町誌 資料編（1982、南木曾町誌編さん委員会）

（仮称）木曾川右岸道路（南部ルート）建設事業環境影響評価書  
（2008、長野県・上松町・南木曾町・大桑村）

長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編（2004、長野県）、

信州の希少生物と絶滅危惧種（1997、長野県自然教育研究会）

長野県鳥類目録2～100年の記録～（1991、日本野鳥の会長野支部）

調査報告書 長野県下における特殊鳥類（1983、長野県林務部治山課）

調査報告書 天竜川周辺における鳥類の生息状況とその環境への影響（1991、長野県林務部治山課）

調査報告書 木曾川周辺における鳥類の生息状況とその環境への影響（1991、長野県林務部治山課）

長野県の貴重昆虫（1983、長野県生活環境部環境自然保護課）

信州の蝶（1996、浜栄一・栗田貞多男・田下昌志）

長野県産チョウ類動態図鑑（1999、信州昆虫学会）

長野県のトンボ（1977、信州昆虫学会）

河川水辺の国勢調査（天竜川）

#### イ. 重要な種及び注目すべき生息地の状況

##### ア) 野生動植物保護地区の分布

「野生動植物保護地区内訳表」（平成23年6月現在、環境省自然環境局ホームページ）によると、長野県には県指定の自然環境保全地域の中に野生動植物保護地区が4箇所存在する。対象事業実施区域及びその周囲には、南木曾岳自然環境保全地域が存在するが、その中に野生動植物保護地区は指定されていない。

#### 4) 鳥獣保護区の分布

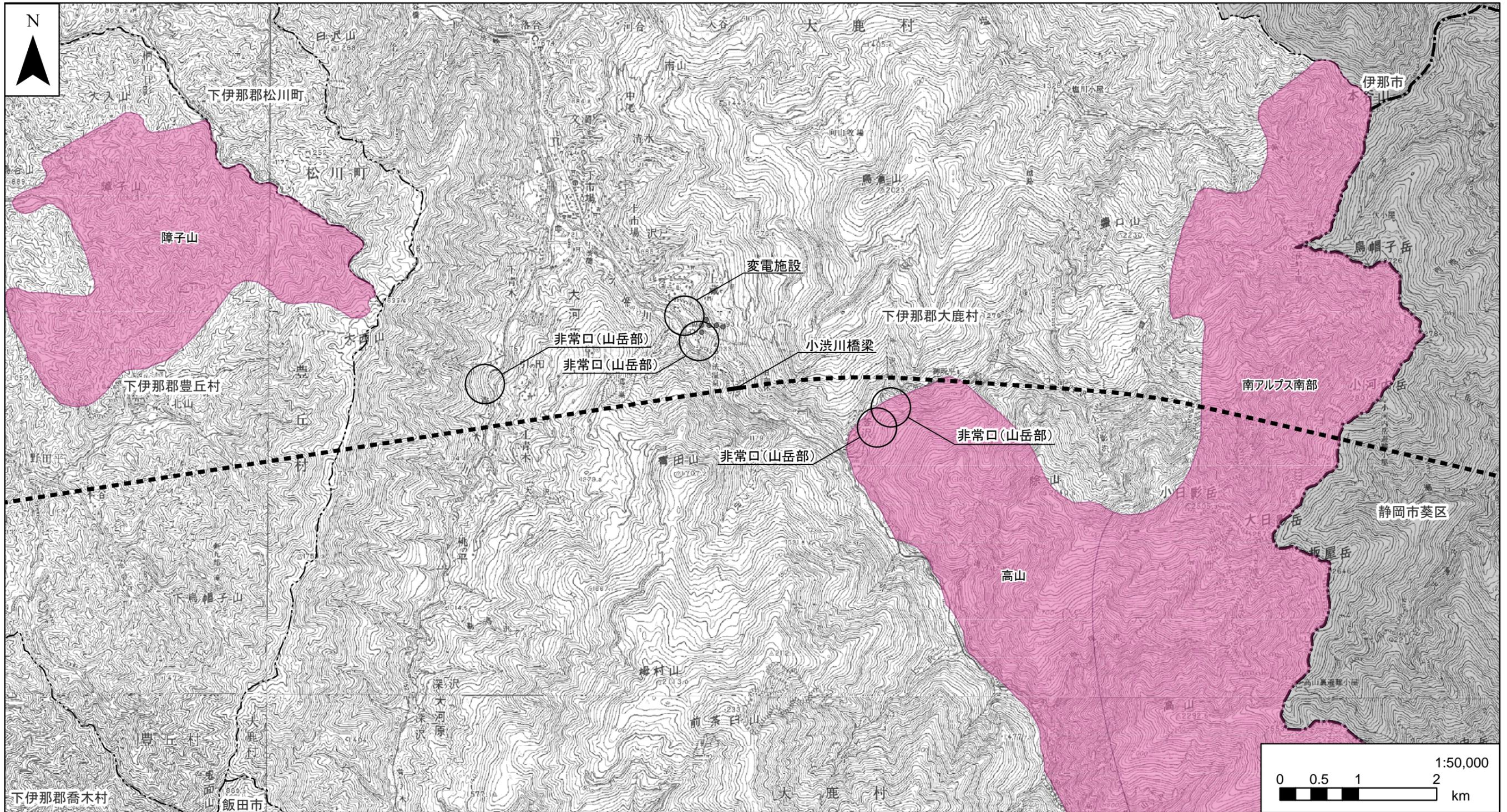
長野県では、137 箇所の鳥獣保護区が指定されている。このうち対象事業実施区域及びその周囲では表 4-2-1-62 及び図 4-2-1-18 に示すとおり、8 箇所が指定されている。

なお、対象事業実施区域及びその周囲に特別保護地区の指定はない。

**表 4-2-1-62 対象事業実施区域及びその周囲の鳥獣保護区一覧**

名 称	設定所在地	設定面積 (ha)	特別保護地区 面積 (ha)	期間終了年月日
南アルプス南部	飯田市、大鹿村	6,377	-	平成 28 年 10 月 31 日
高山	大鹿村	1,060	-	平成 31 年 10 月 31 日
小渋ダム周辺	松川町、大鹿村、中川村	2,543	-	平成 34 年 10 月 31 日
障子山	豊丘村	954	-	平成 26 年 10 月 31 日
沢城湖周辺	飯田市	203	-	平成 34 年 10 月 31 日
摺古木	飯田市	220	-	平成 33 年 10 月 31 日
大平峠県民の森	飯田市	586	-	平成 34 年 10 月 31 日
賤母	南木曾町	122	-	平成 34 年 10 月 31 日

資料：「平成 24 年度版 長野県鳥獣保護区等位置図」（平成 24 年、長野県）



凡例  
 - - - 計画路線（トンネル部） ——— 計画路線（地上部） ●●●● 工事用道路 - - - 県境 - - - - 市区町村境

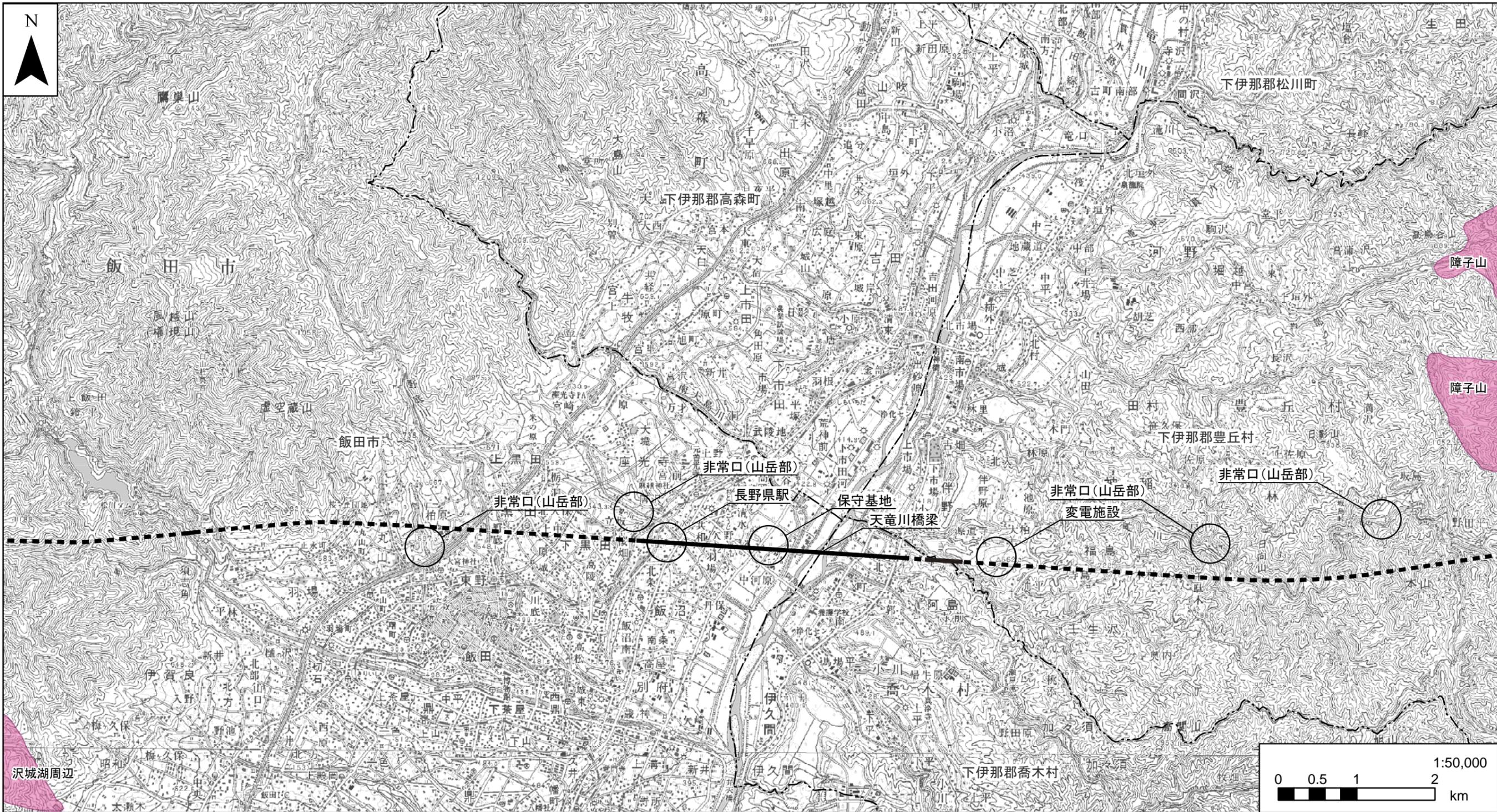
鳥獣保護区  
 注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。



資料：「平成24年度版 長野県鳥獣保護区等位置図」（平成24年、長野県）

図4-2-1-18(1) 鳥獣保護区の指定状況図





凡例

--- 計画路線（トンネル部） — 計画路線（地上部） ●●●● 工事用道路 - - - 県境 - - - - 市区町村境

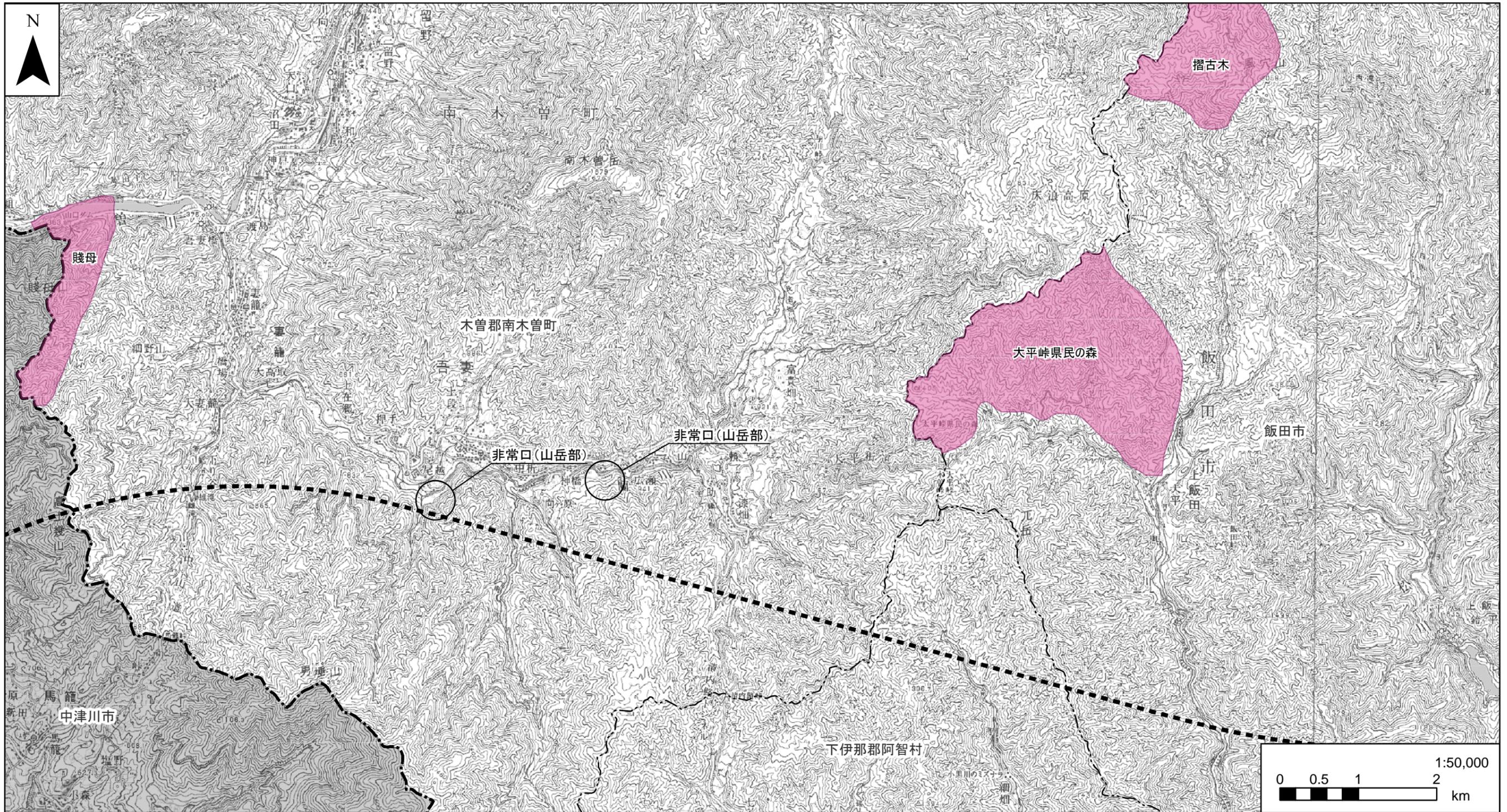
鳥獣保護区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「平成24年度版 長野県鳥獣保護区等位置図」（平成24年、長野県）

図4-2-1-18(2) 鳥獣保護区の指定状況図





凡例

--- 計画路線（トンネル部） — 計画路線（地上部） ●●●● 工事用道路 - - - 県境 - - - - 市区町村境

鳥獣保護区

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。



資料：「平成24年度版 長野県鳥獣保護区等位置図」（平成24年、長野県）

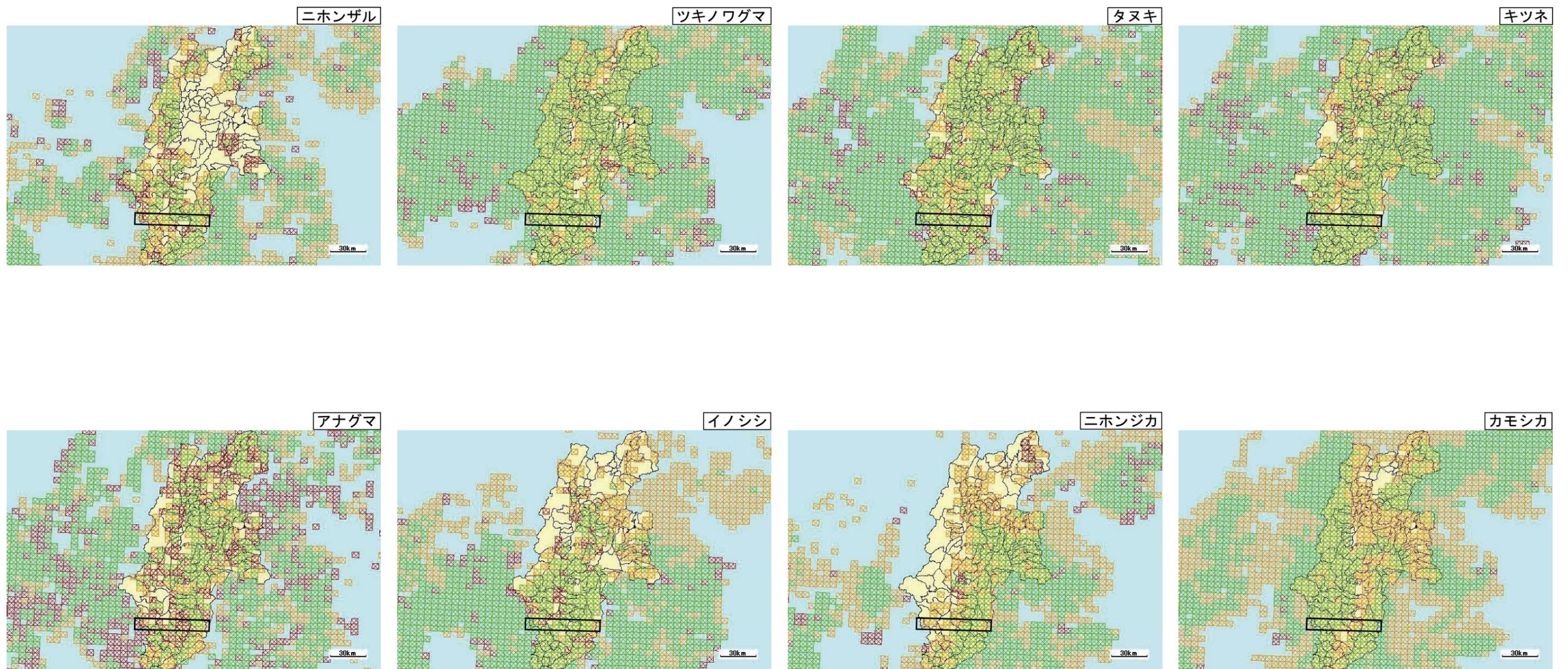
図4-2-1-18(3) 鳥獣保護区の指定状況図



り) 重要な動物及び天然記念物としての動物の生息状況、生息環境

対象事業実施区域及びその周囲の哺乳類、鳥類、両生類・爬虫類、昆虫類、魚類及び底生動物の生息状況は、以下のとおりである。なお、「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査(種の多様性調査)(2004、環境省)」に示す主な哺乳類の分布図を図 4-2-1-19 に、「第2回自然環境保全基礎調査」に示す動物の分布図を図 4-2-1-20 に示す。





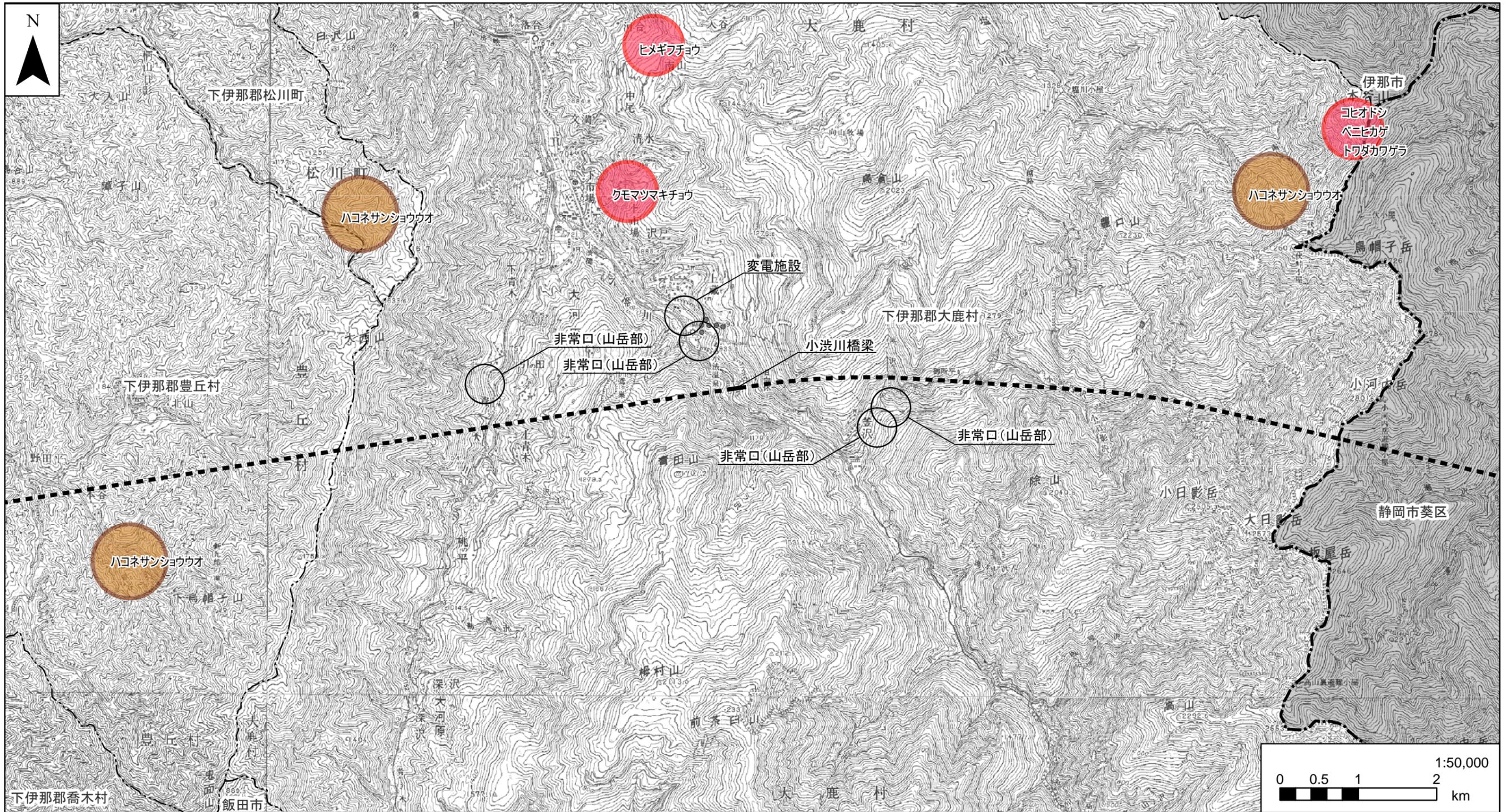
凡例

-  第2回調査のみ確認
-  第6回調査のみ確認
-  第2回と第6回の両方で確認
-  対象事業実施区域を含むメッシュ

資料：「自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査（種の多様性調査）」  
（平成16年、環境省）

図4-2-1-19 主な哺乳類の分布図





凡例

--- 計画路線（トンネル部） — 計画路線（地上部） ●●●● 工事用道路 - - - 県境 - - - - 市区町村境

● 両生類・は虫類

● 昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 長野県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-20(1) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図





凡例

--- 計画路線（トンネル部） — 計画路線（地上部） ●●●● 工事用道路 - - - 県境 - - - - 市区町村境

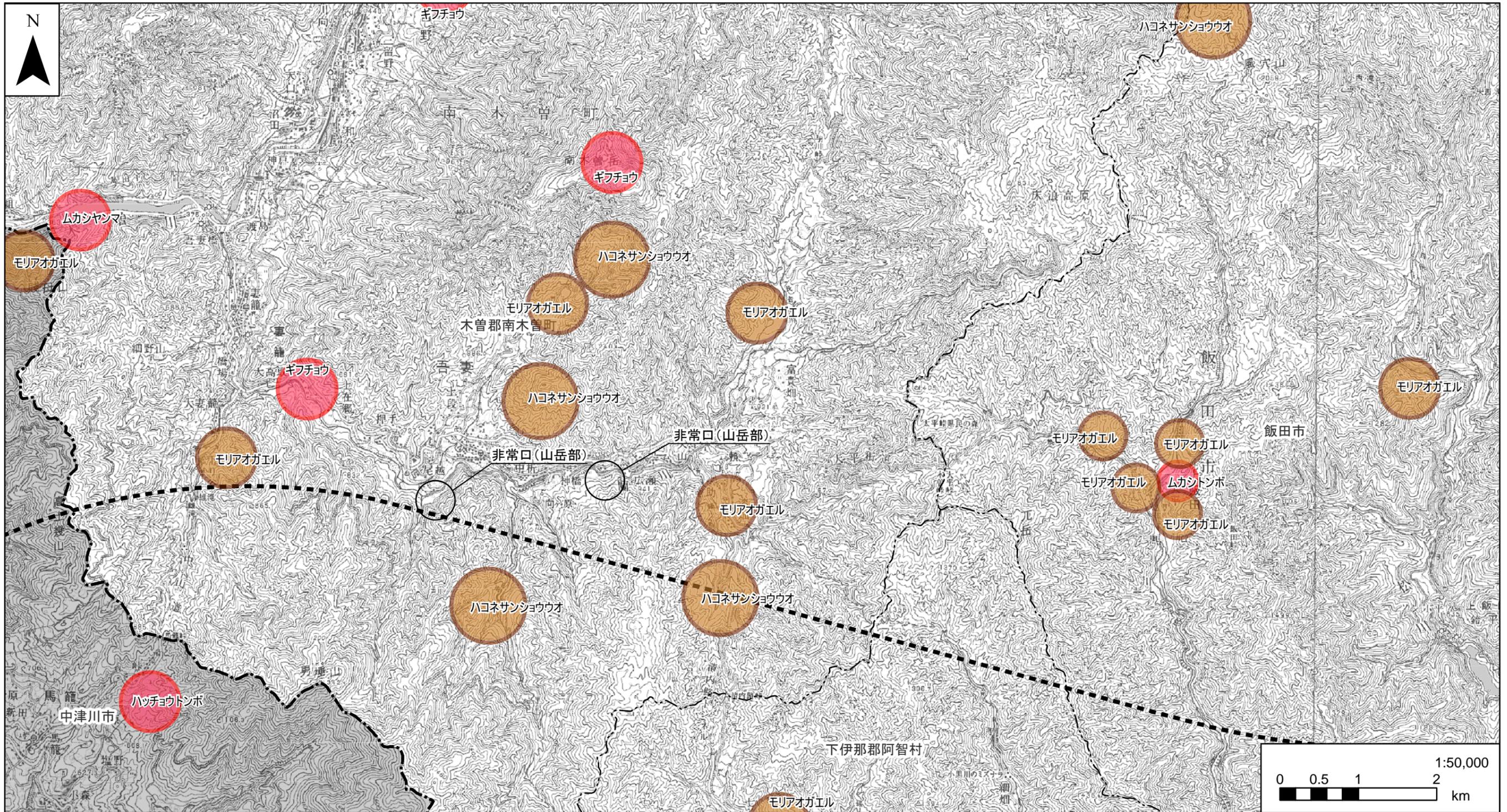
- 両生類・は虫類
- 昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 長野県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-20(2) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図





凡例

--- 計画路線（トンネル部） — 計画路線（地上部） ●●●● 工事用道路 - - - 県境 - - - - 市区町村境

- 両生類・は虫類
- 昆虫類

注1. 他の図面と表示範囲が重なる箇所については、調査地点等を重複して記載しているものもある。

資料：「第2回自然環境保全基礎調査 長野県動植物分布図」（昭和56年、環境庁）

図4-2-1-20(3) 第2回自然環境保全基礎調査による動物の分布図



(哺乳類)

対象事業実施区域を含む周辺市町村における重要な種として、表 4-2-1-63 に示す 17 種の生息情報が得られている。

**表 4-2-1-63 対象事業実施区域を含む周辺市町村で生息が確認された重要な哺乳類**

No.	目名	科名	種名	選定基準									
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
1	モグラ	トガリネズミ	ホンシュウトガリネズミ								NT		
2			カワネズミ								NT		
3			ミズラモグラ									VU	
4	コウモリ	キクガシラコウモリ	ニホンキクガシラコウモリ								N		
5			ニホンコキクガシラコウモリ									N	
6		ヒナコウモリ	モモジロコウモリ									NT	
7			ノレンコウモリ									VU EX	
8			ヤマコウモリ									VU VU	
9			ニホンウサギコウモリ										NT
10			ニホンテングコウモリ										NT
11	ニホンコテングコウモリ										DD		
12	ネコ	イタチ	チョウセンイタチ									NT	
13			ホンドオコジョ									NT NT	
14	ウシ	ウシ	ニホンカモシカ	特天								N	
15	ネズミ	リス	ホンドモモンガ				県天					NT	
16		ネズミ	ホンシュウカヤネズミ									VU	
17		ヤマネ	ヤマネ		天								NT
計	5目	9科	17種	2種	0種	1種	0種	0種	4種	16種			

注1. 分類、配列などは原則として「種の多様性（動植物分布調査）対象種一覧」（平成10年、環境庁）に準拠した。

注2. 文献は以下のとおりである。

- 松川町史第二巻松川町の自然（2010、松川町史第二巻編纂専門委員会・松川町資料館町史編纂事務局）
- 喬木村誌 上巻（1979、喬木村誌編纂委員会）
- 喬木村の生きもの（2008、喬木村役場）
- ふるさと飯田の自然（1977、飯田市教育委員会）
- 清内路村誌（1982、清内路村誌編纂委員会）
- 下伊那誌 生物編（2001、下伊那教育会生物委員会）
- 南木曾町誌 資料編（1982、南木曾町誌編さん委員会）
- （仮称）木曾川右岸道路（南部ルート）建設事業環境影響評価書（2008、長野県・上松町・南木曾町・大桑村）
- 長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編（2004、長野県）
- 信州の希少生物と絶滅危惧種（1997、長野県自然教育研究会）
- 自然環境保全基礎調査 第6回動植物分布調査（種の多様性調査）（2004、環境省）

注3. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）  
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）  
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「長野県文化財保護条例」（昭和50年、長野県条例第44号）  
県天：県指定天然記念物
- ④「長野県希少野生動植物保護条例」（平成15年、長野県条例第32号）  
指：指定希少野生動植物、特：特別指定希少野生動植物
- ⑤「文化財保護条例」（大鹿村昭和47年条例第21号、松川町昭和43年条例第18号、豊丘村昭和49年条例第17号、喬木村昭和45年条例第19号、高森町昭和44年条例第25号、飯田市昭和41年条例第33号、阿智村昭和42年条例第11号、南木曾町昭和51年条例第12号）  
市町村：市町村指定天然記念物
- ⑥「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）および「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、  
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑦「長野県レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編」（平成16年、長野県）  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：留意種

(鳥 類)

対象事業実施区域を含む周辺市町村における重要な種として、表 4-2-1-64 に示す 60 種の生息情報が得られている。

表 4-2-1-64 対象事業実施区域を含む周辺市町村で生息が確認された重要な鳥類

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	キジ	キジ	ライチョウ	特天	国内		指		EN	VU
2			ウズラ						VU	CR
3	カモ	カモ	ヒシクイ	天					VU	
4			マガン	天					NT	
5			コハクチョウ							N
6			オシドリ						DD	
7			トモエガモ						VU	EN
8	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ							VU
9	ネッタイチョウ	ネッタイチョウ	アカオネッタイチョウ						EN	
10	ハト	ハト	アオバト							NT
11	ペリカン	サギ	ヨシゴイ						NT	VU
12			オオヨシゴイ						CR	
13			ミゾゴイ						VU	VU
14			ササゴイ							NT
15			チュウサギ						NT	NT
16	ツル	クイナ	クイナ							DD
17			ヒクイナ						NT	VU
18	ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ						NT	VU
19	アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ							NT
20	チドリ	チドリ	ケリ						DD	
21			イカルチドリ							NT
22			コチドリ							NT
23		シギ	ヤマシギ							DD
24			タカブシギ						VU	
25			ハマシギ						NT	
26		タマシギ	タマシギ						VU	EN
27		カモメ	コアジサシ		国際				VU	EN
28	タカ	ミサゴ	ミサゴ						NT	N
29		タカ	ハチクマ						NT	VU
30			オジロワシ	天	国内/国際				VU	
31			ツミ							DD
32			ハイタカ						NT	VU
33			オオタカ		国内				NT	VU
34			サシバ						VU	VU
35			ノスリ							NT
36			イヌワシ	天	国内		特		EN	CR
37			クマタカ		国内		指		EN	EN
38	フクロウ	フクロウ	オオコノハズク							DD
39			コノハズク							VU
40			フクロウ							NT
41			アオバズク							VU
42			トラフズク							VU
43	サイチョウ	ヤツガシラ	ヤツガシラ			県天				N
44	ブッポウソウ	カワセミ	アカショウビン							VU
45			ヤマセミ							NT
46		ブッポウソウ	ブッポウソウ			県天	特		EN	CR
47	キツツキ	キツツキ	オオアカゲラ							NT
48	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ							N
49			ハヤブサ		国内				VU	N
50	スズメ	ヤイロチョウ	ヤイロチョウ		国内		指		EN	CR
51		サンショウクイ	サンショウクイ						VU	VU
52		カササギヒタキ	サンコウチョウ							VU
53		モズ	チゴモズ						CR	CR
54			アカモズ						EN	EN
55		ヨシキリ	コヨシキリ							NT
56		セッカ	セッカ							CR
57		ヒタキ	マミジロ							NT
58			ノビタキ							NT
59		ホオジロ	ホオアカ							NT
60			ノジロ						NT	NT
計	17目	29科	60種	5種	8種	2種	5種	0種	33種	51種

注1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。  
注2. 文献は以下のとおりである。

松川町史第二巻松川町の自然(2010、松川町史第二巻編纂専門委員会・松川町資料館町史編纂事務局)  
喬木村誌 上巻(1979、喬木村誌編纂委員会)  
ふるさと飯田の自然(1977、飯田市教育委員会)  
清内路村誌(1982、清内路村誌編纂委員会)  
下伊那誌 生物編(2001、下伊那教育会生物委員会)  
南木曾町誌 資料編(1982、南木曾町誌編さん委員会)  
(仮称)木曾川右岸道路(南部ルート)建設事業環境影響評価書  
(2008、長野県・上松町・南木曾町・大桑村)  
長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編(2004、長野県)  
信州の希少生物と絶滅危惧種(1997、長野県自然教育研究会)  
長野県鳥類目録2-100年の記録- (1991、日本野鳥の会長野支部)  
調査報告書 長野県下における特殊鳥類(1983、長野県林務部治山課)  
調査報告書 天竜川周辺における鳥類の生息状況とその環境への影響(1991、長野県林務部治山課)  
調査報告書 木曾川周辺における鳥類の生息状況とその環境への影響(1991、長野県林務部治山課)  
河川水辺の国勢調査(天竜川)  
日本産鳥類の繁殖分布(第2回自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査) 動物分布調査(鳥類)報告書)(昭和56年、環境庁)

注3. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)  
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年、法律第75号)  
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「長野県文化財保護条例」(昭和50年、長野県条例第44号)  
県天：県指定天然記念物
- ④「長野県希少野生動植物保護条例」(平成15年、長野県条例第32号)  
指：指定希少野生動植物、特：特別指定希少野生動植物
- ⑤「文化財保護条例」(大鹿村昭和47年条例第21号、松川町昭和43年条例第18号、豊丘村昭和49年条例第17号、喬木村昭和45年条例第19号、高森町昭和44年条例第25号、飯田市昭和41年条例第33号、阿智村昭和42年条例第11号、南木曾町昭和51年条例第12号)  
市町村：市町村指定天然記念物
- ⑥「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」(平成24年、環境省)および「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」(平成25年、環境省)  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、  
VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑦「長野県レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編」(平成16年、長野県)  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A 類、EN：絶滅危惧 I B 類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：留意種

(両生類・爬虫類)

対象事業実施区域を含む周辺市町村における重要な種（爬虫類）として、表 4-2-1-65 に示す 4 種の生息情報が得られている。また、対象事業実施区域を含む周辺市町村における重要な種（両生類）として、表 4-2-1-66 に示す 10 種の生息情報が得られている。

**表 4-2-1-65 対象事業実施区域及びその周囲で生息が確認された重要な爬虫類**

No.	目名	科名	種名	選定基準						
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	カメ	イシガメ	ニホンイシガメ						NT	VU
2	トカゲ	ナミヘビ	タカチホヘビ							DD
3			ヒバカリ							DD
4			シロマダラ							DD
計	2目	2科	4種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	4種

注1. 分類、配列などは原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（平成24年、日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

注2. 文献は以下のとおりである。

- 松川町史第二巻松川町の自然（2010、松川町史第二巻編纂専門委員会・松川町資料館町史編纂事務局）
- 喬木村誌 上巻（1979、喬木村誌編纂委員会）
- 清内路村誌（1982、清内路村誌編纂委員会）
- 下伊那誌 生物編（2001、下伊那教育会生物委員会）
- 南木曾町誌 資料編（1982、南木曾町誌編さん委員会）
- （仮称）木曾川右岸道路（南部ルート）建設事業環境影響評価書  
（2008、長野県・上松町・南木曾町・大桑村）
- 長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編（2004、長野県）
- 第2回自然環境保全基礎調査 長野県動植物分布図（昭和56年、環境庁）

注3. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）  
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）  
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「長野県文化財保護条例」（昭和50年、長野県条例第44号）  
県天：県指定天然記念物
- ④「長野県希少野生動植物保護条例」（平成15年、長野県条例第32号）  
指：指定希少野生動植物、特：特別指定希少野生動植物
- ⑤「文化財保護条例」（大鹿村昭和47年条例第21号、松川町昭和43年条例第18号、豊丘村昭和49年条例第17号、喬木村昭和45年条例第19号、高森町昭和44年条例第25号、飯田市昭和41年条例第33号、阿智村昭和42年条例第11号、南木曾町昭和51年条例第12号）  
市町村：市町村指定天然記念物
- ⑥「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）および「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、  
VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑦「長野県レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編」（平成16年、長野県）  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類、CR：絶滅危惧ⅠA類、EN：絶滅危惧ⅠB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：留意種

表 4-2-1-66 対象事業実施区域及びその周囲で生息が確認された重要な両生類

No.	目名	科名	種名	選定基準							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
1	有尾	サンショウウオ	アカイシサンショウウオ				指		EN	CR	
2			クロサンショウウオ					NT	NT		
3			ヒダサンショウウオ					NT	NT		
4		オオサンショウウオ	オオサンショウウオ	特天				VU	N		
5		イモリ	アカハライモリ					NT			
6	無尾	アカガエル	ナゴヤダルマガエル						EN	CR	
7			ツチガエル						VU		
8			トノサマガエル						NT		
9			ナガレタゴガエル						DD		
10		アオガエル	モリアオガエル						NT		
計	2目	5科	10種	1種	0種	0種	1種	0種	7種	8種	

注1. 分類、配列などは原則として「日本産爬虫両生類標準和名」（平成24年、日本爬虫両棲類学会）に準拠した。

注2. 文献は以下のとおりである。

- 松川町史第二巻松川町の自然（2010、松川町史第二巻編纂専門委員会・松川町資料館町史編纂事務局）
- 喬木村誌 上巻（1979、喬木村誌編纂委員会）
- 喬木村の生きもの（2008、喬木村役場）
- ふるさと飯田の自然（1977、飯田市教育委員会）
- 清内路村誌（1982、清内路村誌編纂委員会）
- 下伊那誌 生物編（2001、下伊那教育会生物委員会）
- 南木曾町誌 資料編（1982、南木曾町誌編さん委員会）
- （仮称）木曾川右岸道路（南部ルート）建設事業環境影響評価書  
（2008、長野県・上松町・南木曾町・大桑村）
- 長野県版レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編（2004、長野県）
- 信州の希少生物と絶滅危惧種（1997、長野県自然教育研究会）
- 河川水辺の国勢調査（天竜川）
- 第2回自然環境保全基礎調査 長野県動植物分布図（昭和56年、環境庁）

注3. 重要な種の選定基準は以下のとおりである。

- ①「文化財保護法」（昭和25年、法律第214号）  
特天：特別天然記念物、天：天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年、法律第75号）  
国内：国内希少野生動植物種、国際：国際希少野生動植物種
- ③「長野県文化財保護条例」（昭和50年、長野県条例第44号）  
県天：県指定天然記念物
- ④「長野県希少野生動植物保護条例」（平成15年、長野県条例第32号）  
指：指定希少野生動植物、特：特別指定希少野生動植物
- ⑤「文化財保護条例」（大鹿村昭和47年条例第21号、松川町昭和43年条例第18号、豊丘村昭和49年条例第17号、喬木村昭和45年条例第19号、高森町昭和44年条例第25号、飯田市昭和41年条例第33号、阿智村昭和42年条例第11号、南木曾町昭和51年条例第12号）  
市町村：市町村指定天然記念物
- ⑥「環境省第4次レッドリスト 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、貝類、その他無脊椎動物」（平成24年、環境省）および「環境省第4次レッドリスト 汽水・淡水魚類」（平成25年、環境省）  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A類、EN：絶滅危惧 I B類、  
VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群
- ⑦「長野県レッドデータブック～長野県の絶滅のおそれのある野生生物～動物編」（平成16年、長野県）  
EX：絶滅、EW：野生絶滅、CR+EN：絶滅危惧 I 類、CR：絶滅危惧 I A類、EN：絶滅危惧 I B類、VU：絶滅危惧 II 類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、LP：絶滅のおそれのある地域個体群、N：留意種